

BIRDIE SERIES

バディー ラッシュ

活性剤入 葉面散布剤



葉の再生を旺盛にし、
秋も光やかな緑をこぼれる





バーディーラッシュとは

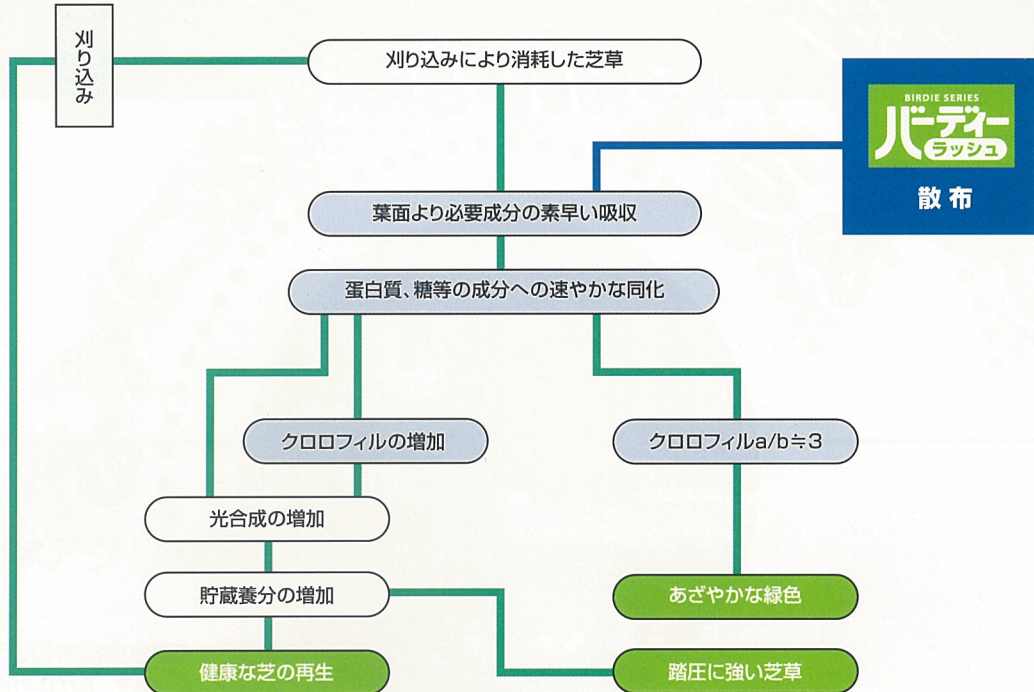
バーディーラッシュとは

ゴルフ場芝草用として商品開発された界面活性剤入り葉面散布剤です。

効果「界面活性剤SE (シュガーエステル)」

- (1). 均一な溶液にできます。(界面活性効果)
- (2). 芝草表面に肥料成分を均一に展着かつ短時間で吸収させることができます。(展着効果)
- (3). 光合成を高めます。
- (4). 「あざやかな緑色」となります。クロロフィル含有量の増加とバランス効果
- (5). SE自体が「炭素源」となるため、芝草は軟弱徒長になりません。
- (6). 農薬との混用散布ができます。(詳細…後述)

機能と特徴





製品シリーズ

製品名	成分	容量	主な特徴及び用途
バーディーラッシュ	チッソ 35 リン酸 5 カリ 5 キレート鉄 0.39	10kg/ケース (1kg×10袋)	<p>★すぐに色だしをしたいときに…</p> <p>窒素成分35%は全量尿素態窒素で構成されています。 尿素はそのままの形で水に溶解するため塩類濃度を高めることなく、又そのままの形で芝草に吸収されるため根の活性が衰えた状態の時、効果が顕著です。</p>
バーディーラッシュN	チッソ 25 リン酸 10 カリ 14 キレート鉄 1.0	同上	<p>★低温期に…</p> <p>全窒素25%のうち、硝酸態窒素を2%含有させたものです。 芝草は好硝酸植物であり、土中で硝酸化成が起こりにくい地温15℃以下でより大きな効果を発揮します。</p>
バーディーラッシュS	チッソ 18 リン酸 8 カリ 12 キレート鉄 2.0 (ケイ酸) 6.0	同上	<p>★硬めの芝生、淡緑色を望む時に…</p> <p>「ケイ酸」を添加することでけい化細胞を作り固い芝草を形成、病害虫及び干ばつの抵抗性を高めることを目的としています。 窒素過多の場合、効果が期待されます。 他のラッシュュに比較し色の出方が少ないため、淡緑色を好む地方に適しています。</p>
バーディーラッシュH	チッソ 20 リン酸 10 カリ 16 キレート鉄 1.0 (腐植酸入り)	同上	<p>★有機物の少ないサンドグリーンに…</p> <p>土壌有機物のエキスである天然腐植酸を添加し、CECの低さや、保水力の小ささ及び微生物の活性の低さをカバーすべくサンド及びサンディーグリーン対象に開発された商品です。</p>
バーディーラッシュV	チッソ 25 リン酸 0 カリ 17 キレート鉄 1.0	同上	<p>★リン酸過剰が指摘されるグリーンに…</p> <p>近年、リン酸過剰を指摘されるグリーン向けとして、リン酸分を抜いた商品です。 更に、山間高冷地や東北、北海道で重要課題であるスズメノカタビラ抑制対策にも主眼をおいています。</p>



上手な使い方

使用量・散水量・希釈倍率

地域、使用場面等で各々異なりますが、概ね標準は次の通りです。

芝	使用量 (g/m ²)	水量 (ℓ/m ²)	倍率 (水量1ℓの場合)
ベントグラス	4~8	1	250~125
コウライ芝	6~10	1	167~100

※コウライ芝に対しベント芝では2割程度少なめに散布してください。

適用時期と効果

適用 \ 時期(月)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
休眠開始の遅延							■	■	■	■	■	■
春のグリーンアップの促進		■	■	■								
緑色維持	■	■	■									
黄化症の回復				■	■	■		■				
生育促進・不良条件	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■

●効果の持続は、芝の品種や散布時期、使用量、天候及び生育ステージなどにより多少異なりますが、平均して2~3週間緑色が保てます。

「効果」の持続期間

およそ2~3週間であり、この効果期間を目途に3回以上連続使用することで大きな効果を得られます。

濃度障害

「バーディーラッシュ」のEC(電気伝導度)は1~1.5msと低く、又PHも5前後と良好な範囲内にあるため「葉焼け」が起こりにくい安全設計となっています。

「農薬」との混用

「バーディーラッシュ」シリーズは発売以来、国内において数多くのコースで愛用され、農薬との併用実績も多く、今まで葉害発生の事例は殆どありません。ただし、強アルカリ性の「石灰硫黄合剤」との併用は避けて下さい。



上手な使い方【応用編】

春先の生育促進

秋

コウライ芝に対しては、まず芝草の休眠前の秋に散布し十分な栄養を蓄えさせることが大切です。
(ラッシュュN等)

春

ベント、コウライともに萌芽時期より散布を開始します。いずれも春の更新作業時に散布すると効果です。
(チッソ成分の高い「バーディーラッシュュ」使用が効果的です。)

冬場の緑色維持

コウライ芝

秋より使用することで、冬の休眠時期を約1~2週間遅らせ緑色の期間を長くし、更に翌春の萌芽を早め、生育促進に役立ちます。

ベント芝

冬季に使用することで、芝草を軟弱にすることなく、翌春の生育促進に大きな効果があります。
※いずれの場合も、低温下では硝酸態チッソを含む「バーディーラッシュュN」が効果的です。

夏場の使用（生育徒長、軟弱化防止）

通常（春先、秋口、冬場時）よりも散布量を少なめにコントロールすることで特に問題はなりません。
(チッソ分の少ないケイ酸入りラッシュュS、腐植酸入りラッシュュHが適当です)

「黄化症」対策

各バーディーラッシュュシリーズに含まれる「キレート鉄」が「鉄黄変」と呼ばれる黄化症状の鉄分補給に大きな役割を果たします。

一般液肥との相違点（吸収作用）

根から栄養を吸収する一般液肥と異なり、バーディーラッシュュは葉面吸収1/2、根吸収1/2と栄養分の速やかな吸収促進を特徴とし、各使用時期に於いて優れた効果を発揮します。成分の葉への展着が高いこと、電気伝導度(EC)が低く葉焼けや根腐れが起きにくく、更に芝草の生育に適したpH(5~7)条件を満たすべく一般の液肥とは異なる機能と工夫がなされています。